

部課名		議会事務局											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。 											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定													
中間確認													
年度末確認													
順位	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	議場見学の推進	—	2020年度の新型コロナウイルス感染症に対応した議場見学の経験を活かし、感染予防策の確認をします。 また、説明内容の見直しをおこなうとともに、利用しやすい議場見学の実施方法を検討します。	議場の見学者数	1,200人	○	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言により、中止又は延期になった小学校社会科見学もありましたが、宣言の期間外に実施する小学校においては積極的に受け入れています。また、議場システムの体験の内容を見直し、小学生が意見を発表しやすいように工夫しました。 ・議場見学を受け入れる際には、アルコール消毒、マスクの着用を促す等、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底しています。 ・9月末時点の議場の見学者数は、552人です。 	引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防策を徹底し、安全に議場見学を受け入れています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染予防策として、アルコールによる手指消毒、マスクの着用、換気等を徹底し、議場見学を積極的に受け入れました。 ・小学校社会科見学については、学校教育部と事前調整を行い、各小学校の見学がスムーズに行われるように連携しながら実施しました。また、議場見学の際には、小学生が意見を発表しやすいように、学校生活に関連したテーマを取り上げる等、内容の見直し・工夫を行いました。 ・社会科見学実施日が雨天の場合、昼食場所として傍聴者ロビーを開放し、学校の見学行程が組みやすくなるように、臨機応変に対応しました。 	2,257人	B	B:当初の目標を上回る成果が上ったためです。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、議場見学を受け入れる必要があります。 ・小学校社会科見学については、引き続き関係部署と連携しながら実施していきます。

順位	年度目標設定				中間確認			年度末確認					
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
2	情報発信の拡大	—	SNS・ホームページの活用等、先進自治体の取り組みなどを研究していきます。あわせて新型コロナウイルス感染症の流行等の緊急事態においても、速やかな情報発信を継続できるよう研究していきます。	研究	研究の実施	○	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの設置拠点拡大に向けて、子ども関連施設等の複数施設と交渉を進めました。 新型コロナウイルス感染症への対応について、SNS、ホームページでのお知らせをわかりやすく表示し、速やかな情報発信に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き議会だよりの設置拠点の拡大等を図っていきます。 引き続きコロナ禍であることも踏まえた情報発信に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの設置拠点を新たに23箇所(市内高等学校、子ども関連施設、障がい者関連施設等)拡大できました。特に主権者教育が重要な高校生に向けて発信できる、高校への配布は重視しており、意見交換会の関わりの中で教員の皆様の協力を得ながら実現しました。 1年を通じ、コロナ禍であることを踏まえた情報発信を行いました。特に第4回定例会で傍聴受け入れを再開した際には、感染症対策についてご理解ご協力いただけるよう、丁寧な情報発信に努めました。 	研究の実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上だったためです。	<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの発行部数が減少傾向にあり、引き続き情報発信を拡大する施策を研究する必要があります。 議会の傍聴は、感染状況によって、今後変化するため、ホームページ等で引き続き表現を丁寧に情報発信していく必要があります。
3	視察受け入れ方法の研究	—	新型コロナウイルス感染症が流行している状況も踏まえ、オンラインでの実施を含めた視察受け入れ方法を研究していきます。	研究	研究の実施	◎	<ul style="list-style-type: none"> Web会議システムを活用したオンライン視察受け入れの方法を検討し、整理したマニュアルを作成しました。 上半期は他市からの視察依頼がありませんでしたが、町田市から依頼した常任委員会の視察を、検討した方法を基にオンラインにて実施しました。また、その際視察先の自治体から、町田市のオンライン視察の実施方法について教えてほしいとの依頼があり、マニュアルを提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き他市からの依頼に応じて、調整の上受け入れを行っていきます。 オンラインでの視察を実施した際は、実施方法及びマニュアルの改善を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン視察について、快適に実施できる方法を研究、確立し、その手順をマニュアルにまとめました。 確立した方法により3回の視察を実施しました(町田市への視察受入2回、町田市からの視察1回)。その中で出てきた課題は改善を行い、マニュアルの改訂も重ねました。 視察先の自治体からの依頼でマニュアルを提供しました。 	研究の実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上だったためです。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があることと、ケースによってオンラインの方が効率が良いこともあるため、より快適なオンライン視察の方法を研究し、積極的な受け入れを行っていきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
4	改選事務のマニュアル 改訂版作成	—	改選事務について、マニュアルの 改訂版を作成することで、改選事務 を効率的に行えるようにします。	マニュアル改 訂版作成	作成	○	過去に作成した改選 事務マニュアルの事務 内容・手順を見直しま した。	改選事務がスムーズ に行えるように、関係 各所と調整・協議を行 い、内容をマニュアル に反映させていきま す。	・市議会議員選挙に伴 う改選事務マニュアル の内容・手順を見直 し、最新の状況に合わ せた改訂版を作成しま した。	作成	C	C:目標水準を 達成したため です。	改選時期ごと に内容を見直 し、活用しやす い形に改善し ていきます。

部課名		議会事務局議事担当											
課の使命		<ul style="list-style-type: none"> ・議会の権能を十分に発揮できるよう市議会を補佐する機関として、円滑な議会運営に努めます。 ・市民の代表である市議会議員の議員活動をサポートすると共に、正確で迅速な議会情報を広くわかりやすく提供していくことで、市民・議員(来市される他市の議員を含む)・行政など幅広い顧客の信頼へとつなげていきます。 											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	常任委員会マニュアルの内容の調整・最終版の作成	—	常任委員会の業務工程表及びマニュアルの内容を調整し、最終版を作成します。それらの活用により、業務効率化を図ります。	常任委員会マニュアルの内容の調整・最終版の作成	内容の調整・最終版の作成	○	5月から9月開催の常任委員会で業務工程表及びマニュアルの内容を現状に合わせて調整しました。	平常に戻ることも含め、社会情勢の変化を想定し、10月以降開催の常任委員会で、さらに調整を行います。	社会情勢の変化を注視し、10月以降開催の常任委員会で、さらに検証を行い、マニュアルを見直しました。	内容の調整・最終版の作成	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も社会情勢の変化を想定して、内容を随時検証し、更新していきます。
2	新型コロナウイルス感染拡大の長期化に備え、ソーシャルディスタンスに対応した会議運営方法の確立	—	本会議場・委員会室のレイアウトを変更し、ソーシャルディスタンスを保った出席者の席次での本会議及び委員会運営方法を検討します。	円滑な会議運営	ソーシャルディスタンスを考慮した安全性の確保と、順調な会議の運営	○	本会議場・委員会室は座席の間隔を空けて使用しました。また、委員会の説明員の交代は、説明員等が長時間待機することのないよう、議会事務局職員が説明員に連絡するようし、効率性を高めました。	平常に戻ることも含め、社会情勢の変化を想定し、状況に応じた本会議及び委員会の運営方法を検討します。	社会情勢の改善が見られなかったため、一年を通して状況に応じた本会議及び委員会の運営を行いました。また、本会議場で発言議員の席に飛沫防止パネルを設置する等、安全で円滑な会議の運営を行いました。	ソーシャルディスタンスを考慮した安全性の確保と、順調な会議の運営	C	C:目標水準を達成したためです。	今後も社会情勢の変化を想定し、更に状況に応じた本会議及び委員会の運営を随時検討していきます。